

和歌山県の農林水産業の概要

特徴・取組

和歌山県は、紀伊半島の南西部にあって、北は大阪府、東は奈良県と三重県、南は熊野灘に接し、西は紀伊水道をはさんで徳島県と向かい合っている。面積の8割以上を山地が占め、平野はとても少なく、紀の川流域の和歌山平野と有田川や日高川の下流に小さな平野が広がっている。気候は、県北部が瀬戸内海式気候で、年間を通じて天気や湿度が安定しており、降水量も少ない。南部は太平洋岸式気候で、黒潮の影響を受け温暖で台風の影響を受けやすく極めて降水量の多い地域もある。

和歌山県の産業は、鉄鋼業を始め、化学や機械金属などの産業が盛んで、ニット、パイル等の繊維や皮革等の素材関連産業、漆器、家庭用品、家具、建具等の生活関連産業等が集積し、数多くの産地が形成されている。主な産業は和歌山市を中心とする北部地域に集中しており、製造業等の第二次産業のウエイトが全国に比べてやや高いのが特徴。

農業は、紀北地域のかき、もも、紀中地域のみかん、紀中・紀南地域のうめなど県内全域で果樹栽培が盛ん。果樹の生産は産出額や栽培面積において県全体の6割以上を占め、本県農業の基幹作物となっている。

林業は、古くから「木の国」と呼ばれ、すぎ、ひのきなどの優良材の生産県として全国に知られている。また、白炭（紀州備長炭）は全国有数の生産量を誇る。

水産業は、内海性の瀬戸内海と外洋性の太平洋に二分され、それぞれの海域特性に応じて各種漁業が営まれている。内水面では紀の川、有田川、日高川及び富田川周辺地区で、清流の伏流水を利用したあゆの養殖業が営まれている。

和歌山県では、令和4年度の新政策として、農業生産力の強化に向け、園地の若返りや新技術の導入等による生産性の向上を図るため、老木園の改植推進、スマート化とハウスの高度化を加速するための支援を拡充することとしている。

また、和歌山版遊休農地リフォーム化支援事業では、農地中間管理機構が貸付・売渡を行う遊休農地について、現状復旧に加え、支援対象に園地条件の改良を追加するなど、支援内容を拡充することにより、担い手への集積・集約を加速化する。

林業では、紀州林業収益向上プロジェクトとして、伐採、搬出、植栽など森林施業の省力化を図るため、スマート林業機器の導入支援（新規）や原木の需要と供給のミスマッチを解消するための需要別原木判別システム整備（新規）の支援が予定されている。

主な農林水産物

みかん

収穫量は17年連続日本で全国の2割を占める。
有田地方のみかんは有田みかんとして有名。
(収穫量全国1位)



うめ

みなべ町、田辺市を中心に栽培され、収穫量は全国の6割を占める。
主な品種は、南高、古城等。
(収穫量全国1位)



かき

紀北地域を中心に栽培され、収穫量は全国の約2割を占める。
主な品種は、刀根早生等の渋柿が8割を占める。
(収穫量全国1位)



ハッサク(八朔)

紀北地域を中心に栽培され、収穫量は全国の約7割を占める。
(収穫量全国1位)



スターチス

紀中地域を中心に栽培され、出荷量は全国の約5割を占める。
近年、作付面積が増加している主力花き。
(出荷量全国1位)



グリーンピース

紀中地域を中心に栽培され、収穫量は全国の約4割を占める。
主な品種は、うすいえんどう。
(収穫量全国1位)



たちうお

紀伊水道を中心に漁獲され、漁獲量は全国の約1割を占める。
(漁獲量全国5位)



いせえび

熊野灘を中心に漁獲され、漁獲量は全国の約1割を占める。
(漁獲量全国3位)



あゆ(養殖)

県内各地で養殖され、収穫量は全国の約2割を占める。
(収穫量全国3位)



白炭

紀中地域を中心に生産され、生産量は全国の約4割を占める。
白炭は紀州備長炭として知られている。
(生産量全国2位)



和歌山県内の各地域における農林水産物

紀中地域

【農畜産物】みかん、うめ、グリーンピース、ハッサク（八朔）、キヨミ（清見）（かんきつ類）、シラヌヒ（デコポン）、セミノール（かんきつ類）、サンショウ、すいか、トマト、きゅうり、スターチス、宿根かすみそう、ブロイラー

【林産物】白炭、木・竹酢液

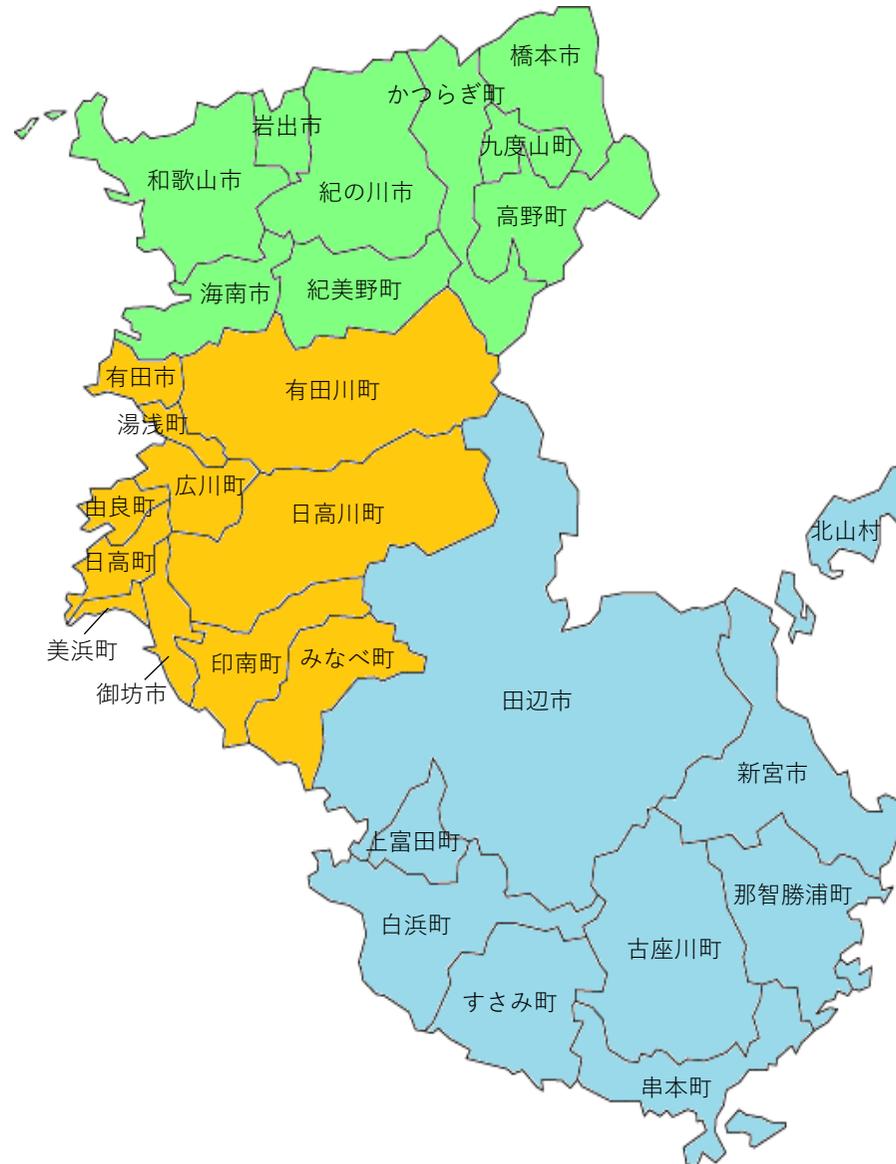
【水産物】いわし、あじ、たちうお、あゆ

紀南地域

【農畜産物】うめ、みかん、すもも、シラヌヒ（デコポン）、じゃばら、茶、ガーベラ、乳用牛

【林産物】すぎ、ひのき、生しいたけ

【水産物】かつお、くろまぐろ、いせえび



紀北地域

【農畜産物】かき、みかん、もも、ハッサク（八朔）、すもも、キウイフルーツ、キヨミ（清見）（かんきつ類）、シラヌヒ（デコポン）、イチジク、キャベツ、はくさい、たまねぎ、だいこん、にんじん、米、豚、採卵鶏

【林産物】まつたけ

【水産物】たい、あゆ

和歌山県の農業（1）

- ・耕地面積は3万1,600haで全国第38位。内訳は、樹園地が2万haで耕地面積の63%を占め3位。
- ・総農家数は2万5,263戸で全国第33位。
- ・基幹的農業従事者数は2万7,202人で全国第24位。認定農業者数は2,641経営体で27位。

耕地面積

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|-----------|------------|---------------|------|
| 耕地面積 | 31,600 ha | 4,349,000 ha | 38 |
| 田 | 9,260 ha | 2,366,000 ha | 42 |
| 畑 | 22,300 ha | 1,983,000 ha | 20 |
| 普通畑 | 2,250 ha | 1,126,000 ha | 44 |
| 樹園地 | 20,000 ha | 263,200 ha | 3 |
| 牧草地 | 31 ha | 593,400 ha | 43 |
| 参考) 総土地面積 | 472,468 ha | 37,797,463 ha | 30 |

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|--------|----------|------------|------|
| 荒廃農地面積 | 3,434 ha | 281,831 ha | 29 |

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|-----------|----------|--------------|------|
| 担い手への集積面積 | 9,213 ha | 2,535,115 ha | 37 |
| 集積率 | 29.0 % | 58.0 % | 35 |

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|----------|------------|---------------|------|
| 農業経営体数 | 18,141 経営体 | 1,075,705 経営体 | 28 |
| 法人経営体 | 154 経営体 | 30,707 経営体 | 44 |
| 総農家数 | 25,263 戸 | 1,747,079 戸 | 33 |
| 販売農家 | 17,250 戸 | 1,027,892 戸 | 29 |
| 参考) 世帯総数 | 394,483 世帯 | 55,830,154 世帯 | 39 |
| 集落営農数 | 8 集落営農 | 14,490 集落営農 | 42 |

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|----------------------|-----------|---------------|------|
| 基幹的農業従事者数 | 27,202 人 | 1,363,038 人 | 24 |
| 男 | 15,150 人 | 822,144 人 | 24 |
| 女 | 12,052 人 | 540,894 人 | 20 |
| 65歳以上 | 17,394 人 | 948,621 人 | 25 |
| 基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合 | 63.9 % | 69.6 % | - |
| 認定農業者数 | 2,641 経営体 | 233,806 経営体 | 27 |
| 法人数 | 76 法人 | 26,080 法人 | 45 |
| 参考) 総人口数 | 922,584 人 | 126,146,099 人 | 40 |

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

和歌山県の農業（2）

- ・農業産出額は1,104億円で全国第29位。内訳は、果実が759億円で農業産出額の69%を占め3位。
- ・農畜産物の生産状況は、みかん、うめ、かき、ハッサク（八朔）、グリーンピース、スターチス（切り花類）、イチジク、セミノール（かんきつ類）、サンショウが全国第1位。
- ・農業者等による生産関連事業は、農産加工の事業体数が1,400事業体で全国第2位。

農業産出額

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|--------|----------|-----------|------|
| 農業産出額 | 1,104 億円 | 89,557 億円 | 29 |
| 米 | 78 億円 | 16,551 億円 | 42 |
| 麦類 | x 億円 | 521 億円 | - * |
| 雑穀 | 0 億円 | 77 億円 | 45 |
| 豆類 | 0 億円 | 712 億円 | 45 |
| いも類 | 2 億円 | 2,391 億円 | 47 |
| 野菜 | 141 億円 | 22,520 億円 | 37 |
| 果実 | 759 億円 | 8,741 億円 | 3 |
| 花き | 53 億円 | 3,080 億円 | 20 |
| 工芸農作物 | 6 億円 | 1,553 億円 | 23 |
| その他作物 | x 億円 | 697 億円 | - * |
| 畜産 | 35 億円 | 32,279 億円 | 45 |
| 肉用牛 | 7 億円 | 6,863 億円 | 45 |
| 乳用牛 | 6 億円 | 9,310 億円 | 47 |
| 生乳 | 6 億円 | 7,798 億円 | 47 |
| 豚 | 1 億円 | 6,596 億円 | 47 |
| 鶏 | 17 億円 | 8,724 億円 | 43 |
| 鶏卵 | 11 億円 | 4,577 億円 | 42 |
| ブロイラー | 5 億円 | 3,621 億円 | 35 * |
| その他畜産物 | 4 億円 | 787 億円 | 16 |
| 加工農産物 | 0 億円 | 436 億円 | 40 |

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

| 区分 | 年次 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|--------------|-----|--------------|------------|------|
| みかん | 収穫量 | R2 167,100 t | 765,800 t | 1 * |
| うめ | 収穫量 | R2 41,300 t | 71,100 t | 1 |
| かき | 収穫量 | R2 40,500 t | 193,200 t | 1 |
| ハッサク（八朔） | 収穫量 | 元 18,578 t | 26,484 t | 1 |
| グリーンピース | 収穫量 | R2 2,490 t | 5,600 t | 1 |
| スターチス（切り花類） | 出荷量 | R2 65,000 千本 | 118,000 千本 | 1 |
| イチジク | 収穫量 | 元 2,114 t | 11,578 t | 1 |
| セミノール（かんきつ類） | 収穫量 | 元 1,421 t | 2,599 t | 1 |
| サンショウ | 収穫量 | 元 419 t | 651 t | 1 |
| キヨミ（清見） | 収穫量 | 元 5,398 t | 13,394 t | 2 |
| シラヌヒ（デコボン） | 収穫量 | 元 5,733 t | 40,516 t | 3 |
| もも | 収穫量 | R2 6,620 t | 98,900 t | 5 |

出典：「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「野菜生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|--------|------|------------|---------------|
| 農産加工 | 総額 | 17,727 百万円 | 946,841 百万円 |
| | 事業体数 | 1,400 事業体 | 32,400 事業体 |
| 農産物直売所 | 総額 | 15,766 百万円 | 1,053,366 百万円 |
| | 事業体数 | 230 事業体 | 23,650 事業体 |
| 観光農園 | 総額 | 289 百万円 | 35,943 百万円 |
| | 経営体数 | 60 経営体 | 5,290 経営体 |

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

和歌山県の林業

- ・ 林業産出額は38.5億円で全国第30位。
- ・ 林産物の生産状況は、ひのきが6万5,000m³で全国第15位。白炭の生産量が1,045 t で全国第2位。
- ・ 製材工場数は97工場で全国第19位。

林野面積

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|-------|------------|---------------|------|
| 林野面積 | 360,130 ha | 24,770,201 ha | 25 |
| 国有林 | 16,470 ha | 7,153,338 ha | 35 |
| 民有林 | 343,660 ha | 17,616,863 ha | 21 |
| 人工林面積 | 220,320 ha | 10,203,842 ha | 17 |

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|--------|---------|------------|------|
| 林業経営体数 | 340 経営体 | 34,001 経営体 | 35 |
| 法人経営体 | 57 経営体 | 4,093 経営体 | 30 |

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|----------|---------|------------|------|
| 林業産出額 | 38.5 億円 | 4,286.4 億円 | 30 |
| 木材生産 | 14.0 億円 | 1,943.7 億円 | 31 |
| 栽培きのこ類生産 | 15.8 億円 | 2,259.6 億円 | 25 |

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|-------|---------------------|------------------------|------|
| 素材生産量 | 166 千m ³ | 19,882 千m ³ | 30 |
| 針葉樹 | 162 千m ³ | 18,037 千m ³ | 30 |
| すぎ | 96 千m ³ | 11,663 千m ³ | 30 |
| ひのき | 65 千m ³ | 2,722 千m ³ | 15 |
| 広葉樹 | 4 千m ³ | 1,845 千m ³ | 36 |
| 白炭 | 生産量 1,045 t | 2,948 t | 2 * |
| 生しいたけ | 生産量 1,109 t | 70,280 t | 20 |
| まつたけ | 生産量 0.4 t | 31.6 t | 4 * |
| 木・竹酢液 | 生産量 16.9 KL | 1,894.0 KL | 10 * |

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|-----------------|-------|----------|------|
| 工場数 | 97 工場 | 4,115 工場 | 19 |
| 製材用素材の入荷があった工場数 | 97 工場 | 4,067 工場 | 17 |
| 国産材のみ | 87 工場 | 3,237 工場 | 15 |
| 国産材と輸入材 | - 工場 | 653 工場 | - |

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

和歌山県の漁業

- ・海面漁業・養殖業産出額は130億円で全国第29位。
- ・水産物の生産状況は、いせえびが130 tで全国第3位、内水面養殖業のあゆが630 tで3位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産物直売所の年間販売金額が44億8,600万円で全国第2位。

漁船隻数

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|------|---------|-----------|------|
| 漁船隻数 | 2,327 隻 | 132,201 隻 | 23 |
| 動力漁船 | 1,653 隻 | 69,920 隻 | 18 |

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|-----------|-----------|------------|------|
| 海面漁業経営体数 | 1,581 経営体 | 79,067 経営体 | 21 |
| 内水面漁業経営体数 | 18 経営体 | 4,772 経営体 | 42 |

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|----------|---------|-----------|------|
| 海面漁業就業者数 | 2,402 人 | 151,701 人 | 23 |
| 男 | 2,293 人 | 134,186 人 | 22 |
| 女 | 109 人 | 17,515 人 | 24 |

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|-------------|--------|-----------|------|
| 海面漁業・養殖業産出額 | 130 億円 | 13,484 億円 | 29 |

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|--------------|----------|-------------|------|
| 海面漁業・養殖業生産量 | 16,368 t | 4,182,983 t | 32 * |
| 海面漁業漁獲量 | 13,065 t | 3,213,334 t | 30 |
| いせえび | 130 t | 1,023 t | 3 |
| たちうお | 467 t | 6,395 t | 5 |
| 海面養殖業収穫量 | 3,303 t | 969,649 t | 23 * |
| くろまぐろ | 1,252 t | 18,167 t | 5 * |
| まだい | 1,867 t | 65,973 t | 6 * |
| 内水面漁業・養殖業生産量 | 655 t | 50,832 t | 13 * |
| 内水面漁業漁獲量 | 7 t | 21,745 t | 35 * |
| 内水面養殖業収穫量 | 648 t | 29,087 t | 11 * |
| あゆ | 630 t | 4,044 t | 3 * |

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

| 区分 | 和歌山県 | 全国 | 全国順位 |
|--------|------|-----------|-------------|
| 水産加工 | 総額 | 2,529 百万円 | 175,132 百万円 |
| | 事業体数 | 10 | 1,500 |
| 水産物直売所 | 総額 | 4,486 百万円 | 36,489 百万円 |
| | 事業体数 | 10 | 800 |

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

和歌山県の農林水産業の話題等（1）

「わかやま布引だいこん」が地理的表示（GI）に登録

令和3年5月、「わかやま布引（ぬのひき）だいこん」が和歌山県内の農産物では初めて「地理的表示（GI）」として登録された。「わかやま布引だいこん」は、生産地である和歌山市布引、内原、紀三井寺、毛見の4地区で生産される青首大根で、砂質土壌で育つため、根部の上から下まで太さがそろい、ヒゲ根が少なく、肌のきめが細かいことなどが特徴。

市場関係者からは、「根部がまっすぐ長くボリュームがあり、青首の青い部分と白い部分のコントラストがよい、大根の肌に張り艶がありみずみずしく非常に柔らかい、出荷は安定しており、適期収穫により葉の折れや変色が少なく品質も良い。」と評価されており、高値での取引に繋がっている。



布引地区のだいこん畑



わかやま布引だいこん

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」の選定

「日本の棚田百選」として全国134地域（県内は1地域）を認定後、20年以上が経過。担い手の減少等により荒廃が進む棚田地域の振興を図るため、改めて棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、農林水産大臣が優良な棚田を認定する取組「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～（ポスト棚田百選）」を実施。令和2年2月全国で271、県内では8地域の棚田が「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定された。

【県内選定地域】

紀美野町（①中田の棚田）、橋本市（②芋谷の棚田）、有田川町（③上湯・あらぎ島、④沼の棚田・段々畑、⑤久野原の棚田、⑥沼谷「天空の棚田」、⑦杉野原の棚田）、那智勝浦町（⑧色川の棚田群）



①中田の棚田



②芋谷の棚田



③上湯・あらぎ島



④沼の棚田・段々畑



⑤久野原の棚田



⑥沼谷「天空の棚田」



⑦杉野原の棚田



⑧色川の棚田群

和歌山県の農林水産業の話題等（2）

日本初、和歌山からベトナムに温州みかんを輸出

令和3年11月28日、ベトナム向け温州みかんの輸出出発式が、ありだ農業協同組合AQ中央選果場で行われた。これまで、温州みかんは香港、台湾、シンガポール等へは輸出されていたが、令和3年10月1日にベトナムへの輸出が解禁されたことを受け、有田地域の温州みかんが国内産地として初めてベトナムに輸出されることとなった。

今回は2トンの温州みかんが輸出され、ホーチミン市の高級スーパーにおいて、温州みかんの美味しさや産地の歴史等の魅力について消費者へのPRや店頭販売が行われた。今後、関係者が連携し、来年度の輸出拡大に向けて取り組んでいくこととしている。



テープカットの様子



トラック出発見送り

みかんの産出額 6年連続日本一

和歌山県では、平成27年度からJAグループと連携し、温州みかんの市場評価を高めるため、糖度選別が可能な光センサー選果機を利用して厳選したみかんを市場に出荷する「みかんの厳選出荷」に取り組んでいる。

令和2年産みかんは、秋の長雨により糖度と酸が平年に比べやや低く、販売単価はわずかに低下したものの、厳選出荷を徹底した結果、みかんの産出額は平成27年から6年連続で日本一となった。

今後も、和歌山県は厳選出荷の徹底に加え、優良品種への改植、天候に左右されず高品質みかんの生産が可能なマルチ栽培の推進等により、みかん生産量（平成16年産以降、17年連続日本一）、販売単価、産出額の3冠日本一を目指すこととしている。

みかん産出額と収穫量の推移（和歌山県）

